＜様式１＞　管理運営状況評価書　　：選択　　：自動計算のため入力不要

【対象年度：令和7年度】　　（　② 福祉施設　）

Ⅰ　施設概要・利用情報　　（単位：人、%、円、日）

施　設　名	掛川市総合福祉センター	担当課名	福祉課	担当係	福祉政策係

区　分		内　容　・説　明
1 施設及び指定管理者の状況	(1) 設置条例名	掛川市総合福祉センター条例
	(2) 施設設置目的	市民の健康増進及び福祉の向上を図るため。
	(3) 施設が有する設備・機能の概要	◎福祉活動館（974.72㎡　体育館）、◎本館（1,883.04㎡　1F　シルバー人材センター・相談の部屋ふらっと（社会福祉協議会）、2F　社会福祉協議会・共用会議室、3F　掛川児童交流館・ことばの教室）、◎東館（342.90㎡　1F　心配ごと結婚相談室、2F　社会福祉協議会障害福祉部門、3F 中東遠タスクフォースセンター）、◎多目的広場（8,040.00㎡）、◎南広場（1,836.70㎡）、◎駐車場（6,750.00㎡　駐車台数231台・身障者用駐車台数11台）
	(4) 施設建設年度	平成20年度（開設年度）
	(5) 耐震性能	あり　（耐震性能）　Ｉａ　1b（本館）
	(6) 将来予想される改修経費（想定年度と費用の見込）	照明設備LED化 各館の修繕工事
	(7) 指定管理者名	公益社団法人掛川市シルバー人材センター
	(8) 指定期間	令和6年　4月1日から　令和11年　3月31日まで
	(9) 債務負担行為設定の有無	☑ 設定あり　☐ 設定なし　※　設定ありの場合：期間　令和5年度　～　令和10年度　限度額：　80,000千円
	(10)施設の管理運営形態	① 指定管理料のみで運営
	(11)自主事業の有無	☐ 実施あり　☑ 実施なし　※　実施ありの場合は、収支状況をⅢ－(3)欄に記入のこと。
	(12)その他事業の有無	☐ 実施あり　☑ 実施なし　※　実施ありの場合は、収支状況をⅢ－(3)欄に記入のこと。
	(13)事業報告書提出の有無	☑ 提出あり　☐ 提出なし　※　地方自治法第244条の2第7項による提出義務
	(14)利用者満足度調査等の実施の有無	☑ 実施あり　☐ 実施なし　※　「実施あり」の場合、直近の実施年度：　令和7年度

区　分				R05実績	R06実績	R07実績	R08当初	備　考
2 利用状況	(1) 施設利用者数	（目標値）		24,000	24,000	24,000	24,000	※　協定書に記載した要求水準値を記入してください。
		（実績値）		26,468	27,431	27,530		
	内訳（施設・設備ごと）	福祉活動館		18,325	19,114	18,863		
		多目的広場		8,143	8,317	8,667		
	(2) 施設稼働率（利用率）			R05実績	R06実績	R07実績		↓備考欄に算定式を記入してください↓
	（施設・整備ごと）	福祉活動館	A	平日昼間	209.6%	217.4%	208.9%		利用団体数÷（コート数2×日数　）
			B	平日夜間	81.0%	82.4%	83.3%		
			C	土日祝昼間	134.8%	128.6%	130.4%		
			D	土日祝夜間	57.0%	62.7%	62.9%		
		多目的広場	A	平日昼間	151.0%	148.2%	170.8%		利用団体数÷（コート数×日数　）
			B	平日夜間					
			C	土日祝昼間	116.5%	120.0%	106.3%		
			D	土日祝夜間					
			A	平日昼間					
			B	平日夜間					
			C	土日祝昼間					
			D	土日祝夜間					
			A	平日昼間					
			B	平日夜間					
			C	土日祝昼間					
			D	土日祝夜間					
			A	平日昼間					
			B	平日夜間					
			C	土日祝昼間					
			D	土日祝夜間					

区　分			R05実績	R06実績	R07実績	R08当初	備　考
３　管理運営状況	(1) 指定管理者名						※ 1-(7)　現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
	(2) 利用者1人当たりの運営経費		189	201	210		
	(3) 運営日数		307	303	304	302	
	(4) 運営人員	① 正規職員	1.0	1.0	1.0	1.0	※ 指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。
		② 臨時職員	4.0	4.0	4.0	4.0	

Ⅱ　施設管理に係るコスト情報

（単位：円、%）

区　分		R05実績	R06実績	R07実績	R08当初	備　考
(1) 運営コスト（A）	① 人件費	3,105,220	3,318,453	3,596,889	3,827,000	
	② 印刷費	93,500	105,600	99000	99,000	
	③ 通信費	0	0	0	1,000	
	④ 事務用品・旅費・図書費等	163,208	383,228	255,561	208,000	
	⑤ 借上料	319,968	288,728	313,808	338,000	
	⑥ 保険料・消費税(租税公課)等	1,291,370	1,406,240	1,504,540	1,250,000	
	⑦ その他(支払手数料・広告宣伝費・一般管理費・雑費)	16,720	15,455	15,950	29,000	
	小　計	4,989,986	5,517,704	5,785,748	5,752,000	
	対前年度増減率		10.6%	4.9%	−0.6%	
区　分		R05実績	R06実績	R07実績	R08当初	備　考
(2) 施設コスト（B）	① 管理委託費（外注費）	2,117,204	2,163,404	2,213,304	2,236,121	
	消防設備保守点検	524,920	524,920	524,920	524,920	
	浄化槽保守点検	843,824	849,824	843,824	853,441	
	浄化槽法定検査等	29,500	23,500	31,000	31,000	
	エレベーター保守点検	462,000	508,200	521,400	534,600	
	電気工作物保安	221,760	221,760	221,760	221,760	
	自動ドア保守点検	35,200	35,200	70,400	70,400	
	② 修繕費	773,410	1,494,545	1,145,968	400,000	
	③ 光熱水費	3,028,391	2,845,055	2,475,337	4,800,000	
	④ 燃料費					
	⑤ 清掃費	3,655,796	3,806,900	4,192,687	4,433,000	
	⑥ 保守点検費	30,360	172,392	186,956	178,200	機械警備システム・NRシステム保守料・防犯火災監視サービス
	⑦ その他（施設消耗品等）					
	小　計	9,605,161	10,482,296	10,214,252	12,047,321	
	対前年度増減率		9.1%	−2.6%	17.9%	
(3) トータルコスト（施設管理費の計）（A）＋（B）		14,595,147	16,000,000	16,000,000	17,799,321	
(4) トータルコストのうち、運営コストの割合		34.2%	34.5%	36.2%	32.3%	
(5) 施設の収入　※次頁に入力する		476,110	463,470	481,580		
(6) 運営コストのうち、利用料収入の割合		9.5%	8.4%	8.3%		

Ⅲ　収支差額の状況

(1) 指定管理料のみで運営している施設　　注：【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

区　分	R05決算額	R06決算額	R07決算額	備　考
(a) 施設使用料収入	476,110	463,470	481,580	※ 施設利用料金は、掛川市に収入される
(b) 指定管理料	14,500,000	16,000,000	16,000,000	
収支差額　(a)－(b)	▲ 14,023,890	▲ 15,536,530	▲ 15,518,420	

(2) 利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設　　（単位：円）

区　分	R05決算額	R06決算額	R07決算額	備　考
(a) 施設使用料収入				※ 施設利用料金は、指定管理者へ収入される
(b) 収支差額 【 (a)－トータルコスト】				
(c) (b)に対する市の支出額（＝指定管理料）				

(3) 自主事業及びその他事業の状況

区　分	R05決算額	R06決算額	R07決算額	備　考
(a) 自主事業の収入				
(b) 自主事業の支出				
収支差額　(a)－(b)	0	0	0	
(c) その他事業の収入				
(d) その他事業の支出				
収支差額　(c)－(d)				

【単年度収支】

	R05決算額	R06決算額	R07決算額	備　考
単年度収支	-95,147	0	0	(利用料金＋指定管理料＋自主事業収支＋その他事業収支) － トータルコスト
対前年度増減率				

Ⅳ　担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	設置目的を達成できている	3	
2	設置目的をほぼ達成できている		
1	設置目的を一部達成できていない		
0	設置目的を達成できていない		

(2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度　＜達成：3点　8割達成：2点　6割達成：1点　6割以下の達成度：0点＞

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
A　施設全体の満足度	85.0%	91.2%	3	
B　サービス内容の満足度	85.0%	93.8%	3	
C　従業員応対の満足度	85.0%	93.5%	3	
D　施設安全対策の満足度	85.0%	93.3%	3	
E　美感・清潔感の満足度	85.0%	91.8%	3	
F　施設の利用者数	24,000人	27,530人	3	

(3) 収支の改善状況　※収支差額が赤字は0点、収支差額が黒字は1点から3点とする。

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	前年度より収支状況が向上している	3	
2	前年度と同等の収支状況となっている		
1	前年度より収支状況が縮小している		
0	収支差額が赤字になっている		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	【達成できていない点・主な課題】 ・　建物の老朽化が目につくようになっている。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・簡易な修繕は施設管理者が随時行い、対応の難しいものがあれば担当課と協議の上、修繕対応する。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設（事業）の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 （施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討）	2	【達成できていない点・主な課題】 ・市民の健康増進及び福祉の向上を図るため、高齢者・障害者の支援や児童・生徒の健全育成に関わる使用の際には利用料の減免が必要となる。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・広く市民に利用してもらうことにより施設設置目的を達成することが重要であるため、収支状況を改善するための料金改定は行うべきでないと考えられる。また、市民の安全のため、施設の老朽化に伴う修繕は迅速に対応するよう行政の関与は必要である。
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 （直営化、一定額指定管理料制度など）		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 （独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など）		
0	民間では実施できない、担い手がいないため、行政がやるべきである。 （直営化など）		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	3	
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

31 ／ 33

Ⅴ　その他自由意見